

令和7年度当初予算知事審査における主要な議論

(県民生活部)

■ 埼玉未来大学運営による高齢者活動支援事業費 (P12)

知事 広報の主な対象として想定している、地域創造科のオンラインコースの定員を考えると広報費が高額なのではないか。

担当部局 広告到達率などから算出した想定人数（広告を見た人が埼玉未来大学のHPを訪れる人数）を考えると高額ではないと考えている。

知事 埼玉未来大学の講座の見直しについて、予算額から考えると、他団体が実施している類似の講座と比べると高額なのではないか。

担当部局 他団体の事例については承知していなかったもので、持ち帰り検討させていただく。あわせて、広報費についても改めて検討する。

(後日審査)

担当部局 複数の媒体で実施する予定だった広報については効果的と考えられる媒体に絞ることで広報費の見直しを行った。なお、広報費については来年度以降さらに縮減する予定である。

また、地域創造科のオンラインコースに係る事業費についても見直しを行うことで予算額を抑えることとする。

知事 了解した。

■ 「伝統文化」魅力発信・普及プロジェクト (P30)

知事 他のWebアプリと比較して高額ではないか。

担当部局 庁内の他のアプリを参考としているが、団体数が多岐に渡ることや、SNS等での発信が不得意な団体も想定されることから、投稿に対して県と市町村がチェックする機能を実装することを考えている。また、イベントの場所を視覚的に分かりやすく表示する工夫や、ギャラリー機能を充実させる。

令和 7年度予算見積調書

課室名: 共助社会づくり課

担当名: 活動支援担当

内線: 2819

(単位: 千円)

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | | |
|--------------------------|--|---------|----------------|---|------|------|---------------------|-----------------|------------------|--------|
| P12 | 埼玉未来大学運営による高齢者活動支援事業費 | | | 一般会計 | 総務費 | 県民費 | 県民活動推進費 | 県民活動総合センター管理運営費 | | |
| 事業期間 | 令和 2年度～ | 根拠法令 | 老人福祉法第13条 (任意) | | 針路 | 06 | 人生100年を見据えたシニア活躍の推進 | SDGsゴール | 4, 10, 17 | |
| | | | | | 分野施策 | 0603 | 高齢者の活躍支援 | SDGsターゲット | 4-4, 10-2, 17-17 | |
| 1 事業概要 | シニア層がいつまでも元気に地域社会で積極的に活躍できるよう、地域の担い手育成、活動情報や活動場所の提供など、シニア層の社会参加活動を支援する。 | | | 5 事業説明 | | | | | | |
| | ア 埼玉未来大学運営 47,365千円 イ ライフデザイン科運営 6,477千円 ウ 埼玉都民の意識変容とリスクリグ体験 6,996千円 エ 地域創造科運営 39,575千円 オ 岩槻高齢者講習センターにおける社会参加・健康づくり事業 21,280千円 | | | (1) 事業内容 ア 埼玉未来大学運営 47,365千円 地域活動の担い手となるシニアに対する総合的な支援を行う(公財)いきいき埼玉にその経費を補助する。 イ ライフデザイン科運営 6,477千円 シニアの元気と地域活動のための知識や技術を習得する機会を提供し、地域の担い手となる人材を育成する。 ウ 埼玉都民の意識変容とリスクリグ体験(新規) 6,996千円 埼玉都民向け広報の実施やリスクリグ体験となる講座の配信を行う。 エ 地域創造科運営(一部新規) 39,575千円 NPOやソーシャルビジネスの起業・運営に関する専門的なカリキュラムを提供し、きめ細やかな支援を行う。 オ 岩槻高齢者講習センターにおける社会参加・健康づくり事業 21,280千円 岩槻高齢者講習センター(令和6年度開設)における社会参加・健康長寿など各種啓発事業を実施する。 | | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分(県10/10) | | | | (2) 事業計画 ア 埼玉未来大学運営 地域活動の担い手となるシニアに対する総合的な支援に係る人件費等を補助。 イ ライフデザイン科運営 通学講座、オンライン講座による、地域の担い手となる人材を育成。 ウ 埼玉都民の意識変容とリスクリグ体験 電車ドアステッカーなどによるターゲット広報、セミナー・基礎講座配信に係る費用を補助。 エ 地域創造科運営 通学講座、オンライン講座を実施、個人に寄り添うきめ細かな伴走型支援支援を行う。 オ 岩槻高齢者講習センターにおける社会参加・健康づくり事業 社会参加、健康長寿など各種啓発事業実施に係る運営を行う費用を補助。 | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 | なし | | | (3) 事業効果 元気で自立したシニアが増加するとともに社会参加意識が高まり、シニアが地域の担い手として活躍する。 【活動指標(アウトプット)】 ライフデザイン科定員600人(通学講座500人、オンライン講座100人)、地域創造科定員160人(アクティブコース30人、地域ビジネスコース30人、オンライン講座100人)、専門学科定員240人 【成果指標(アウトカム)】 人生100年時代を見据えたシニアが活躍する埼玉が実現 | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 | (1) 人件費(既存分) 9,500千円×0.4人=3,800千円 (2) 人件費(増員分) なし (3) 組織の新設・改廃 なし | | | (4) 変更事項(前年度から変更した内容) 新規単位事業「ウ」の新設に伴い、未来大学全体のカリキュラムを再構築、ライフデザイン科オンライン講座にセカンドステージ準備コースを新設、地域創造科にオンライン講座を新設、専門学科(専門講座から名称の変更) | | | | | | |
| 予算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | 一般財源 | 前年との対比 |
| 決定額 | 121,693 | 諸収入 | 6,544 | | | | | | 115,149 | 17,190 |
| 前年額 | 104,503 | | 6,544 | | | | | | 97,959 | |

令和 7年度予算見積調書

課室名: 文化振興課
 担当名: 文化創造・発信担当
 内線: 2879

(単位: 千円)

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|---|--|----------|-------------------------------|---|------------|------------|------------------------------|----------------------------|------------|
| P30 | 「伝統文化」魅力発信・普及プロジェクト | | | 一般会計 | 総務費 | 県民費 | 文化振興費 | 文化発信・継承事業費 | |
| 事業期間 | 令和 4年度～ 令和 8年度 | 根拠 法令 | 埼玉県文化芸術振興基本条例第6～8条、第14条及び第17条 | | 針路 分野施策 | 08 0803 | 支え合い魅力あふれる地域社会の構築 文化芸術の振興 | SDGsゴール 4 SDGsターゲット 4-7 | |
| 1 事業概要 | <p>埼玉県の豊富で多彩な「伝統文化」の魅力を一元的・体系的に発信するため、プラットフォームを開発し、各「伝統文化」団体が自律的にイベント情報等を掲載できる環境を整備する。県内外の多くの方の「伝統文化」への興味関心を引き出すとともに、鑑賞・体験機会への参加につながるため、プロモーションを併せて実施する。</p> <p>ア イベント情報・ギャラリー等の充実による魅力発信 16,122千円 イ 「伝統文化」普及のきっかけづくり 3,726千円</p> | | | <p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 ア イベント情報・ギャラリー等の充実による魅力発信 16,122千円 イ 「伝統文化」普及のきっかけづくり 3,726千円</p> <p>(2) 事業計画 ア イベント情報・ギャラリー等の充実による魅力発信 「伝統文化」団体が自律的に魅力発信を行うことができるアプリを開発する。 イ 「伝統文化」普及のきっかけづくり ターゲットを見据えたアプリ等のプロモーションを実施する。</p> <p>(3) 事業効果 各「伝統文化」保存団体自身が主体的に自分たちの魅力を磨き、情報発信することにより、好循環を生み出し、継続的に活動することができている。 県内外の多くの方が「伝統文化」に魅力を感じ、自分の好みに応じて気軽に「伝統文化」を鑑賞したり、参加したりできる環境が醸成されている。 【活動指標(アウトプット)】①アプリの開発、②プロモーションの実施 【活動指標(アウトカム)】①掲載イベント数200件、②アプリPV数90,000件</p> | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2) ※一部(県10/10) | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 | なし | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 人件費(既存分) 9,500千円×1.0人=9,500千円 人件費(増員分) なし 組織の新設・改廃 なし | | | | | | | | | |
| 予算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | 一般財源 | 前年との 対比 |
| | | 国庫支出金 | | | | | | | |
| 決定額 | 19,848 | 9,860 | | | | | | 9,988 | 19,848 |
| 前年額 | 0 | | | | | | | 0 | |